

研究協力をお願い

昭和大学保健医療学部作業療法学科では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学保健医療学部作業療法学科学生における臨床実習による経験調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年4月から2023年10月までに、昭和大学保健医療学部作業療法学科に在籍していた2年～4年生

2. 研究目的・方法

保健医療学部作業療法学科では、全国に先駆けクリニカルクラークシップ型実習を導入しています。この実習形態は、関節可動域測定、筋力評価などの各項目において、指導者の実施場面を見ながら解説を受ける「見学」、指導者の補助の元に患者に実践する「模倣」、指導者の監視のもとに自己にて行う「実施」の3段階を経験していくものです。本実習形態を導入して数年がたち、これまでの臨床実習で、学生さんがどの項目において「実施」に至る傾向にあったか、学生さんの経験に指導者の質や学生自身の成績と関連があったかを調査することは、今後のより良い学生実習を検討するうえで有用であると考えています。本研究は、保健医療学部作業療法学科の臨床実習による経験を電子ポートフォリオシステムから後方視的に調査し、指導者の質や学生さんの成績との関連を検討することを目的としています。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2024年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2019年4月から2023年10月までに、昭和大学保健医療学部作業療法学科に在籍していた学生さんの、2年～4年生の電子ポートフォリオシステムから、クリニカルクラークシップ型実習における提出書類（経験記録1、経験記録2、模擬カルテ、最終経験内容、学生実習報告書）、指導者の情報、また作業療法学科に保管されている成績表と、学内の講義・実習・演習で作成したレポート・授業アンケートといった学習記録物を調査項目としています。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学保横浜市北部病院リハビリテーション室

氏名：渡部 喬之

住所：横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1

電話番号：045-949-7241

研究責任者：渡部 喬之

